

令和2年度 事業計画書

(2020年度)

公益財団法人大阪ユースホステル協会の活動目的である「青少年の健全育成」に、2020年度も積極的に取り組んでまいります。その目的の達成のために、時代の変化や社会の要請の変化にも柔軟に対応し、社会貢献を意識しながら、施設の特徴を活かした事業やプログラムの教育的価値と楽しさがより伝わるよう工夫し、ホームページやチラシからの広報だけでなく、全国のユースホステルや各種関係団体と連携して幅広く発信します。また、設備の整備や接客対応の向上など、より利用者に喜ばれるサービスを提供いたします。

基本方針

1. 青少年健全育成への取り組み

拠点となる3つの青少年施設の運営および各種事業を通じて、ユースホステル運動の活性化と青少年の健全育成に取り組めます。また、近畿ブロックユースホステル協議会として日本ユースホステル協会と連携して、青少年対象の事業の活性化と共同企画、広報活動の強化に取り組めます。

2. 利用者視点に立つ施設の運営

世界各国から訪れる旅行者・青少年団体のための宿泊施設として、また合宿研修等の教育的な場として、直営、指定管理の各施設を引き続き運営します。「更なる利用促進」「利用者満足度の向上」「施設の健全な維持管理」を基本方針として、大阪市立青少年センターでは、指定管理契約更新となるため、会議室の増設、授乳室、シャワートイレの導入など、利用促進、サービス向上に邁進します。また国内外の新規利用団体の開拓に向けた営業活動を事業所単位ではなく、協会として総合的に旅行代理店や関連団体に向けて実施していきます。個人利用者獲得増のための予約サイトの積極的な活用やHPをスマホ対応型にリニューアルしていきます。

3. 各種主催事業の実施

引き続き子どもや家族を対象とし、体験活動を通じて子どもの成長や家族の絆を深めることを促します。次年度も、日本ユースホステル協会と連携して「旅をする機会に恵まれない子どもたちに旅を贈ろう」という企画を継続して実施します。新大阪で「子どもカフェ」の実施に向けて準備をスタートします。そして、協会で行う事業運営に欠かせないボランティアリーダーの育成にも積極的に取り組めます。

4. 人材育成とモチベーションアップ

施設・設備の維持管理や指導のスキルはもとより、礼儀正しい態度、親切で丁寧な接客、利用目的達成のための的確な支援等、クオリティの高い対応を行うために、研修・通信教育を行うとともに、新事業へのチャレンジを積極的に支援していきます。

事業計画

1, ユースホステルの普及・広報

会員の維持と新規会員獲得はもとより、ユースホステルを知らない層に対して、施設や事業を積極的にPRするとともに、あらゆる広報の機会を逸することなく、周知に努めます。

- ・デジタル会員証の積極的な推進
- ・年齢層に応じた会費を新たに設定し実質値下げとなった「終身パス」と、適用範囲が拡大された「家族パス」の会員獲得への注力
- ・SNSや各種パブリシティーを有効活用した情報提供や広報
- ・事業所枠を超えた営業・広報チームによる集客活動
- ・主催事業の参加や団体での利用をきっかけとした参加者各位へのユースホステルへの誘い
- ・全国14ヶ所のキーホステルと協働した団体の誘致

2, ユースホステル運動の事業推進

(1) 子ども事業

- ① 主に当協会施設を利用した日帰りイベント 3本
- ② 旅する機会に恵まれない子ども達を対象にしたユースホステル宿泊体験を伴う社会貢献事業 1本
(スリープフォーピース)
- ③ 関係団体が実施する子ども事業への協力・出展
(子どもカーニバル等)

(2) ウォーキング事業

- ① 健脚者向け長距離歩行やホステリング事業 2本
 - ・第48回伊勢迄歩講(12月)
 - ・一発チャレンジ100km歩行(5月)
- ② 日帰り近郊ウォーキング・ハイキング 4本
- ③ 歩行検定 1本

(3) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行相談会(月1回)の開催
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(4) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティアリーダー募集のための合同説明会
- ③ ボランティア各組織ごとの専門的研修会
- ④ 大学ユースホステルクラブの活動支援

(5) 広報活動

- ① トラベルマート（横浜開催の旅行博）への参加
- ② 近畿ブロックユースホステル協議会での共同広報
- ③ キーホステル(全国14ヶ所)での共同広報
- ④ モンベルクラブフレンドフェアへのブース出展
- ⑤ 大阪観光局等が主催する商談会への出席や広報資料の提供
- ⑥ 各種情報掲載サイトへの情報提供

3. 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

新型コロナウイルスによる影響を最小限にとどめ、またその落ち込みを回復すべく、広報集客に努めるとともに、接客のクオリティを向上させ、より満足度の高い施設を目指します。また、国際情勢を睨みながら、引き続きインバウンドへの対策も進めてまいります。これらにより、文化ゾーン(貸室)稼働率58%、宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)利用者19,000人ベッド稼働率45%、カフェ利用者17,000人の目標達成を目指します。

(1) 文化ゾーン

- ① アンケートや利用者の声による利用者ニーズの把握。
- ② 設備・備品の更新、貸室の増設と仕様の見直し、授乳室の新設。
- ③ インターネット予約のさらなる推進

(2) 宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① 旅行会社への訪問営業を近畿周辺に広げ新規団体顧客を獲得
- ② 営業訪問先への継続的なコンタクトと情報のアップデート
- ③ 青少年グループや家族向けなどのキャンペーンの実施とWEBサイトを通じたオンライン予約の販売強化
- ④ 夜行バスプランのバス会社との連携や、ライブ観劇プランの新設
- ⑤ 施設・設備の更新や、宿泊者対象の夜のイベントの実施等で、居心地の良さを醸成
- ⑥ ホームページやSNSを通じた魅力ある広報活動

(3) レストラン(ココカフェ)

- ① 広報の見直しと強化
 - ・ファックスでのDMによる地域利用の促進
 - ・SNSを有効に使った利用促進
 - ・カード決済とキャッシュレスの取り扱いの強化
- ② 結婚式紹介所やエージェント等とのタイアップによる結婚式二次会や同窓会利用の獲得

- ③ ランチフェアの実施
 - ・ 春の海老フェア
 - ・ 夏のカレー&とんかつフェア
 - ・ 秋のきのこ&シーフードフェア
 - ・ 冬の鉄板ハンバーグフェア
- ④ デザートの販売促進
 - ・ ランチメニューへのセットを設定
 - ・ 喫茶タイムの集客
 - ・ 台湾デザートメーカーとの提携による本場のスノーアイスやタピオカデザートの提供
- ⑤ 弁当メニューの充実による会議室利用者からの受注増
- ⑥ 特別支援学校の校外学習におけるアレルギーや摂食障がいに対応した昼食の提供

(4) 事業の企画と実施

① 青少年育成事業

- ・ 青少年ダンス&ボーカルエンタテイメント事業
年間を通じたレッスンと発表会
- ・ ここぷらキッズイベント 毎月1回
- ・ KIDS DANCE 初級・中級コース
- ・ 七夕まつり(笹と短冊の設置) 7月
- ・ 夏休み 親子で楽しむ工作教室 8月
- ・ 高校生KOKOチャレンジアワード
(バンドやダンスのコンテスト) 11月予選・1月決勝
- ・ KOKO秋フェスティバル 10月
- ・ サンクスギビングフェスタ
(練習利用者対象の発表会) 3月

② 自主事業

- ・ 童謡喫茶 毎月1回
- ・ カルチャー教室
(ヨガ教室、大人のためのピアノ教室など) 年間各3コース

③ 宿泊者対象事業

- ・ ロビーコンサート 毎月2~3回
クロマチックハーモニカ、ゴスペル、尺八、篠笛等
- ・ 日本文化体験 毎月1回
折り紙、書道、浴衣着付、コスプレ、茶道等

- ・季節のイベント 随時
七夕、淀川花火、ハロウィン、クリスマス、
年越しイベント、節分等
- ・その他(似顔絵等)
- ④ ココカフェイベント事業
 - ・フォークソングナイト 毎月1回
 - ・ココカフェライブ 隔月1回

(5) 利用獲得目標

	2020年目標	2019年見込	見込比
貸室(文化ゾーン)	243,000人	233,000人	104%
利用率	58%	58%	
宿泊(新大阪ユースホステル)	19,000人	17,300人	110%
ベッド稼働率	45%	40%	
客室稼働率	57%	53%	
レストラン ランチ	13,000人	10,200人	127%
(ココカフェ) パーティー	155組 3,500人	124組 2,980人	121%
ライブ・イベント	20組 500人	16組 440人	114%

4. 羽衣事業所(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

2019年度にインバウンドに特化した営業活動を実施したところ大きな手応えがありました(残念ながらコロナウイルスによってキャンセル)。更なる拡充を目指していきます。

事業では、従来の取組みを継続するとともに、新企画としてユースホステル創始者であるシルマンデーに合わせ、大阪で入会されたユースホステル会員を対象に、現代では見られなくなった昔のミーティング風景を再現しながらの交流イベントを実施する予定です。

また、南海グループ企業・関西大学とコラボレーションし、外国人技能実習生の訪日プロジェクトに参加し、2021年4月からの受け入れを目指します。

(1) 利用促進活動

- ① インバウンド専門の旅行会社に対する営業活動の継続
- ② 野外炊さん場の利用におけるルール改定と食材メニューの刷新
- ③ 合宿に特化したウェブサイトへの登録
- ④ ユースホステル会員感謝祭(仮称)イベントの実施
- ⑤ ユースホステルや浜寺公園の展示スペースを新設
- ⑥ 外国人技能実習生滞在施設としての事前準備

(2) 施設の管理・運営

- ① 排水設備の高圧洗浄清掃
- ② 客室照明のLED化
- ③ ユースホステル棟の洗面台の排水管交換
- ④ フロン排出抑制法による点検実施
- ⑤ SNSを活用したイベント集客とホームページの充実

(3) 地域・人との連携

- ① 公園を軸とした近隣施設との共同イベントの実施
- ② シルバー世代が気軽に参加できるイベントの実施
- ③ 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ④ 新規ボランティアの募集と育成
- ⑤ 高石市教育委員会の協力を得て青少年育成会等に広報活動

(4) エコ活動の推進

- ① 節電・節水等を入所時のオリエンテーションやポスター掲示等で啓発
- ② 炊さん場一部照明に太陽光発電を活用
- ③ 食材の廃棄ロス減少への取組み

(5) 事業の企画と実施

- ① こども対象の事業
 - ・英語であそぼう 4回×3コース 4～3月
 - ・はごろもキッズデイ 8回
 - ・キッズクッキング 3回×2コース 10～3月
 - ・デイキャンプ 3月
- ② 家族対象の事業
 - ・アウトドアクッキング 6・10・3月
 - ・親子でクラフト 7月
- ③ 一般向けの事業
 - ・教室事業 (ヨガ・太極拳・フラダンス等) 22教室
 - ・童謡喫茶 10回(8・3月除く)
 - ・寄席 6・10月
 - ・ノルディックウォーキングツアー 6・11月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・友×遊フェスティバル 11月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
 - ・大晦日・元旦の宿泊イベント 12・1月

- ⑥ 食堂を利用したイベント
- ・ボジョレーヌーボーパーティー 11月
 - ・日本酒イベント 2月
 - ・花火鑑賞 6月
 - ・会員向け交流イベント 8月

(6) 利用獲得目標

	2020年目標	2019年見込	見込比
羽衣青少年センター 稼働率	135,000人 27%	130,000人 24%	104%
大阪国際ユースホテル ベッド稼働率 客室稼働率	26,000人 36% 40%	21,000人 30% 34%	124%

5. 大阪府立少年自然の家

自然の家の指定管理も第3期5年目を迎えます。関係法令を遵守するとともに働きやすい職場づくりに取り組みます。子どもたちの知・徳・体にわたる「生きる力」を育むための体験活動、および災害に対する学びの充実を図ります。また訪日外国人向けの体験プログラム開発により訪日学校団体の更なる誘致を進めます。イベント企画や広報などソフト面でのサービス向上により閑散期の利用者の増加を図り、SNSなどのメディアを活用し周知に努めます。社会教育施設として府内の子どもたちにプログラム体験をしてもらう活動（出前講座）をさらに推進し、新たなプログラム開発とスタッフのスキルアップを図ります。

(1) 投資による新規利用者層の開拓のための施設整備

- ① バーベキューガーデン奥貝塚においてオリジナルメニュー開発による更なる集客と広報
- ② 宿泊棟のWi-Fi利用範囲の拡大によるさらなる利用促進
- ③ フィールドアスレチック施設の拡充と広報

(2) 利用促進活動

- ① ホームページリニューアルとモバイル版への対応
- ② 販促ツールの作成と、学校やインバウンドへ定期的な誘致活動
- ③ インターネットを活用する団体を誘致（企業研修・大学生）
- ④ 独自のアクティビティ開発やキャンペーンによる利用推進
- ⑤ プログラム支援をはじめとしたオプションサービスの設定

(3) 施設の管理・運営

- ① 光熱費の削減のために施設内のLED化の推進
- ② 食物アレルギーや摂食障がいのある方への対応食の提供
- ③ 宿泊棟や本館の建具・鍵などの修繕
- ④ 宿泊棟の寝具の交換と拡充（マットレスの導入など）
- ⑤ 館内およびホームページにおけるインフォメーションの充実

(4) 社会教育施設としての取り組み

- ① 学校の授業と連動したプログラム提供
- ② 教員や一般向けに野外活動やレクリエーション講習実施
- ③ 食育の推進と食事内容の充実
- ④ 学校との連携、出前講座の実施
- ⑤ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ⑥ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑦ 近隣市町村との連携
- ⑧ 青年の家等連絡協議会を中心に他の青少年施設と連携

(5) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象
 - ・フォレストジュニアクラブ 年間を通じ6回
 - ・こどもワイルドキャンプ 8月
 - ・中高生チャレンジキャンプ 8月
 - ・アドプトフォレスト事業 11月
- ② 家族対象
 - ・ゴールデンウィーク宿泊パック 5月
 - ・日帰りプレイパーク 5月
 - ・親子deしぜんのようちえん 年間を通じ4回
 - ・ホテル観賞の夕べ 6月
 - ・木の実でジャムづくり 7月
 - ・秋のファミリーキャンプ 9月
 - ・家族で遊ぼうボードゲーム 1月
 - ・たき火を楽しもう 1・2月7回
 - ・初めてのダッチオープン 12月・1月・2月
- ③ 社会体育・指導者養成
 - ・プログラム体験会 4月
 - ・教員のための野外活動教室 申込みに応じ随時
 - ・ツリーイング指導者養成講習会 年間3回
 - ・野外活動指導者講習会 1月
- ④ 知的障がいのある子どもの支援事業
 - ・乗馬体験と臨床動作法 10月

- ⑤ 災害に備える支援事業
 - ・防災キャンプ 9月
- ⑥ 野外活動と他分野の融合事業
 - ・コスプレの森 年間を通じ5回
 - ・森の婚活 9月
 - ・自然と絵本のコラボレーション 5月2回
 - ・えほんのひろば 11月
- ⑦ 大人向けの自然体験活動
 - ・おとなのえんそく 5月・8月・11月
 - ・シルバー生涯学習 DAY 申込みに応じ随時
- ⑧ 地域や市町村等との連携事業
 - ・おおさか元気広場 出前講座 申込みに応じ随時
 - ・自然の家オープンデー
(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 11月

(6) 利用者サービスの向上

- ① 利用者の目的の達成と満足度を調査分析と顧客満足度の向上
- ② 利用者個々の意見を聞きやすくするため意見箱をの設置や掲示、ホームページの「お客様の声」への掲載などの推進
- ③ 評判の良い外部施設の見学を実施しノウハウを取り入れる

(7) 団体向けセットプラン

- ① 野外料理と自然体験活動の開発
- ② ツリーイングやスラックライン等の体験活動
- ③ 子ども会向けにプログラム指導をセットしたモデルプラン
- ④ 訪日外国人向け日本文化体験モデルプランの充実

(8) 利用獲得目標

	2020年度目標	2019年度見込	見込比
日帰りおよび宿泊利用	107,200人	92,300人	116.1%

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

以 上